

に濱田支部長、堀内、赤崎、赤木、田中、加藤等の常務諸氏上京し政府當局を訪問交渉の結果勅令案の内容も吾人の主張と同様に其の期日は總選舉期日發去後一箇月間は有効期間なる言質を得大に意を強ふした。

(十二) 日 支 懇 談 會

上海争議に起因せる支那海員英船同盟下船等の問題に當面せる神戸の日華兩國有力者の發起により日支懇談會を開催する事となり、其の第一回を大正十四年八月一日午後二時神戸市北長狭通三江南業會館にて開催し本組合よりは組合長及び米津氏出席したり。

(十三) 船舶無線電信施設法實施期日の件

大正十五年一月十七日横濱出港以來行術不明となりその乗組員の救助不能に陥りたる第三次大信丸事件の海上悲劇に鑑み、昨年發布されたる船舶無線電信施設法の實施を促進する事は目下の急務なりと思惟したる本組合は、政府當局及開會中の帝國議會に對し質問書を提出したるに、組合に代り逕信當局に質問したる千代代議士に對し、該法實施は愈々大正十五年秋季より斷行する見込である旨二月二十六日附逕信大臣の言明ありたり。

(十四) 第三次大信丸遭難と組合

大正十五年一月十七日横濱出帆以來行術不明となりたる阿部濱崎汽船會社第三次大信丸船主阿部信一氏及び乗組家族より其の救助方法につき協議ありたるを以つて、組合は海員協會と協同し海軍省及び逕信省に陳情しその援助を乞ひたる結果、當時恰かも大湊より横須賀に向け航行中なりし特務艦青島は海軍省の命令に基づき三陸沿海地方を搜索したるも遂に其の目的を達せざりしが、超へて二月十八日第三次大信丸は跳子沖七百數十哩の地點にて米國船ジャバ・アロウ號に發見され船長以下十

四名の乗組員は無事救助されたが、他の十九名は是れより先き二艘のライフボートにて本船を去りたる事判明したるを以つて本組合及び海員協會は再び船主及び遺族代表者と共に海軍、逕信兩省に出頭しボート搜索人命救助方懇請したる結果二月十九日第二驅逐艦隊の出動を見たるが天候險惡の爲め遂に其の目的を達せざりしは返すくも残念であつた。

(十五) 海 事 協 議 會 と 組 合

毎月一回開催される海事協議會に對し本組合よりは委員として濱田副長代理、赤崎常務部員(補缺米窪編輯部長)出席せり。

(十六) ラヂオ受話器の据附

大正十四年十一月二十六日海事協議會より御大婚記念事業の一として本組合ヘラヂオ受話器一臺寄贈ありたるにつき早速据附けたり。

國際關係事項

(一) 來 福 丸 事 件

大正十四年四月二十一日北太平洋ノゾ・スコシア沖に於いて遭難沈没したる來福丸に對し、英船ホメリック號は現場に急行せるも并關船長以下三十八名の乗組員全部は遂に救助されざりし事件につき組合及び海員協會は五月二十七日午後六時より神戸基督教青年會館に於いて該事件批判演說會を開催したる結果、海上に於ける人命の安全及び救助設備の改善を促進する爲めには國際協力を必要とし又一切の偏見を除てざるべからざる旨の決議を採擇し、これを當時第七回國際勞動總